

令和2年度の主な施策

『1. 子育て施策』

- ★ こども医療費助成対象年齢の引き上げ（拡充） 20,301千円（予算書 P. 155）

入院、通院ともに中学修了前までとなっている対象年齢を、令和2年10月から、18歳以降最初の3月31日までに引き上げる。

- ★ 保育士確保のための補助事業の実施（新規） 9,904千円（予算書 P. 149）

保育士を確保し、受入児童数の維持・拡大を図るため、補助事業を新たに実施する。
①就職が決定した保育士、保育教諭に対し就職支援補助金を交付
②保育士宿舍借上げ支援事業補助金の交付【国庫補助事業】

- ★ 養育費の保証促進補助金制度の創設（新規） 500千円（予算書 P. 149）

ひとり親家庭の養育費の取り決め内容の債務名義化を促進し、継続した履行確保を図るため、保証会社と養育費保証契約を締結する際に要する費用のうち、保証料として本人が負担する費用を助成する。

- ★ 公立認定こども園施設整備事業（継続） 110,724千円（予算書 P. 155）

(仮称)かしわら認定こども園 予算額:101,292千円

令和3年4月の開園に向けて、令和元年度から建設工事を進めている。工事完了後は、低年齢児の待機児童解消を図るため、先行して0歳児からの保育を開始する。

(仮称)たまて認定こども園 予算額: 9,432千円

玉手幼稚園の園児数の減少に対応するため、玉手幼稚園と円明保育所を統合した「(仮称)たまて認定こども園」を開設する。令和3年4月の開園に向けて、既存の「円明保育所」の改修工事を行う。

- ★ 社会的居場所づくり支援事業（新規） 1,050千円（予算書 P. 129）

食事や団らんなどの交流の場や、相談支援の場を提供する子ども食堂などの「社会的居場所」を運営する団体に対し、設立に係る初期経費及び運営経費を助成する。

- ☆ 子育て世代包括支援センターの設置（新規） 5,886千円（予算書 P. 171）

すべての妊産婦及び乳幼児とその保護者を対象として、妊娠・出産・育児に関する各種相談に対応するとともに必要な支援の調整を行うなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供する。

【国庫補助事業】

- ☆ 子ども家庭総合支援拠点の設置（拡充） 3,023千円（予算書 P. 147）

既存の「家庭児童相談室」を核として相談体制の充実を図るとともに、子育て世代包括支援センターと一体的な運営を行うことで、より円滑、的確に、児童虐待の未然防止、早期発見のための活動、要保護児童等への支援を行う。

【国庫補助事業】

『2. 教育施策』

- ★ 学校体育館への空調設備の設置 (新規) 19,500千円 (予算書 P. 255)
-

柏原中学校、玉手中学校の屋内運動場に空調設備を設置する。なお、令和2年度は整備工事に向けた実施設計業務を行う。

- ★ ICT教育の推進 (継続) 64,058千円 (予算書 P. 251・257)
-

令和元年度から実施しているICT教育の環境整備を継続して行う。
令和2年度は、小中学校の指導者、小学5・6年生及び中学1年生に対し一人1台のタブレット端末と学習支援ソフトを導入し、また小中学校の各教室に電子黒板を整備するとともに、これらを最大限効果的に活用するためICT支援員を任用する。

導入台数：タブレット端末 2,078台 電子黒板 214台

【国庫補助事業】

- ★ 学校司書の増員配置 (拡充) 7,296千円 (予算書 P. 237)
-

学校図書館が読書活動の拠点となるような環境整備や学校における読書活動の推進を行うため、学校司書を現行の2名から9名に増員する。

『3. 健康施策』

- ★ 妊婦歯科健康診査費用助成事業 (新規) 2,248千円 (予算書 P. 171)
-

妊婦が健康を保持し、安心して妊娠・出産することができるよう、歯科健康診査に係る費用を助成し受診を促す。

- ★ 産婦健康診査費用助成事業 (新規) 4,103千円 (予算書 P. 171)
-

産後の母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握を行い、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後2週間、産後1か月などの産後間もない時期の産婦健康診査に係る費用を助成し受診を促す。

【国庫補助事業】

- ★ 産後ケア事業(宿泊型・デイサービス型) (新規) 1,879千円 (予算書 P. 171)
-

出産後の母親の身体的な回復や心理的な安定を促すため、出産直後に家族等から十分な支援を受けられない母子に対し、宿泊型及びデイサービス型により助産師等が専門的な支援を行う。

【国庫補助事業】

『4. まちづくり施策』

- ★ スマートICの設置に向けた取り組み (新規) 15,000千円 (予算書 P. 217)
-

産業の活性化及び利便性の向上を図るため、西名阪自動車道にスマートインターチェンジを設置できるよう調査検討を行う。

- ★ 駅前広場の猛暑対策事業 (新規) 15,000千円 (予算書 P. 209)
-

災害並みの猛暑から市民の安全安心を守るため、府補助金を活用し、駅前広場において緑化と暑熱環境改善設備を組み合わせた猛暑対策整備を行う。

- ★ 通学路等の安全対策事業 (継続) 52,000千円 (予算書 P. 209)
-

各小学校区通学路の安全対策のため、令和元年度に策定した整備計画に基づき、道路の路側部におけるグリーンベルトや交差点部のカラー化などの路面標示、また、安全柵の設置などに関する測量設計及び道路改良工事を行う。

【国庫補助事業】

- ☆ 庁舎施設整備事業 (継続) 3,117,900千円 (予算書 P. 103)
-

災害時の防災拠点機能の確保、市民サービスの向上を図るため、「市民の安全・安心の拠点となり、市民生活の中心となる庁舎」を基本理念とし、令和3年4月の供用開始に向けて市役所本庁舎の建替えを行う。

令和2年度は引き続き新庁舎の建設を行うとともに、市役所別館の改修工事に着手する。

『5. その他』

- ☆ 消防団女性分団の設立 (新規) 1,020千円 (予算書 P. 231)
-

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けて、ニーズの多様化への対応として女性の視点を取り入れるため、女性分団を新たに設立する。

- ☆ 東京2020オリンピック聖火リレー事業 (新規) 2,057千円 (予算書 P. 285)
-

玉手山公園から玉手中学校までの1kmのコースにおいて、東京2020オリンピック聖火リレーを実施する。